

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	環境審議会事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	01	04	04	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	環境審議会委員	意図	本市の環境保全を適正に推進する。
事業内容	環境審議会を開催し、環境保全に関する基本的事項等に必要な調査及び審議を行う。公平かつ専門的な立場から調査及び審議していただくことで、環境保全に関する計画について取り組むべき方向性が示され、適正な計画の展開が図れる。			
事業開始から現在までの状況変化	従前は、流山市公害対策審議会が環境保全に関する調査及び審議を行っていた。流山市附属機関に関する条例の改正により流山市環境審議会が同内容を引き継いで調査及び審議を行っている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	環境審議会開催回数	0	1	8	回		
	環境審議会出席委員数	0	10	61	人		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度は、環境基本計画の策定に際して、平成25年8月26日に諮問を受け、4回の環境審議会、4回の環境基本計画策定部会を開催した。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		502,680	3,792,960				
事業費(b)(円)		72,000	439,200				
うち一般財源		72,000	439,200				
職員給与費(c)(円)		430,680	3,353,760				
人役・職員(人)		0.06	0.48				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	平成25・26年度で「環境基本計画」の策定作業を行うことから、スケジュール管理等、効率的な審議会の運営に努める。	取り組みの課題	現在の環境審議会委員について、平成26年8月1日で任期満了となるが、「環境基本計画」を策定途中であるので委員の水準を保ってつなげたい。
今年度(H25)に実施した取り組み	委員全員が出席する審議会と基本計画書(案)を策定する少数の委員による策定部会に分け、効率的な運営を図った。	今後の改善計画	5月から環境審議会委員について市民等の一般公募を開始したところであるが、レベルが下がらないよう、専門知識を持つ委員を選考する。